

本の扉

11月号
2024.11.22

前橋東高校 図書委員会
2年2組

だんだん日が短くなってきましたね。みなさんお元気ですか？2年2組図書委員です！

今回ライブラリーニュースを作成するにあたり、なにかテーマを考えてから作成しようと思ったのですが、特に思い浮かばなかったため、とにかく全力で図書委員おすすめ本を紹介します！！



『応天の門』

(著者:灰原 薬 / 出版社:新潮社)

時は遡り平安時代。京の都には様々な事件が起きるも、ものけや怪異の仕業と信じられ、人々はなんの疑いも持たない。しかし、学問の天才菅原道真と京随一の歌人在原業平の二人が手を取り合い、理論で難事件を解決していく。平安サスペンスここに開幕！！

日本史で藤原パニックになっているそのあなた！古典常識を楽しく身につけたいそのあなた！今すぐ書店に駆け込みましょう！



『最後の秘境 東京藝大 一天才たちのカオスな日常』

(著者:二宮敦人 / 出版社:新潮社)

入試倍率東大の三倍、浪人率7割、日本一合格が難しいと言われる唯一の国立美大、東京藝術大学。ガスマスクを売る生協、月の仕送り50万、60代の同級生、上野動物園のペンギンを一本釣り！？卒業後行方不明者が続出するという彼らの日常は只者ではなかった...

藝大出身の妻を持つ作者が妻の奇行に惹きつけられ、ルーツである東京藝術大学に潜入し、学生や教授との対話を綴った本作。ぶっとびすぎてとにかく面白い。学生時代のKingGnuのあの人も登場？

『か「」く「」し「」ご「」と「」』

(著者:住野よる / 出版社:新潮社)

普通に見えても隠し持っている。少しの特別な能力を持った高校生5人のお話。まったく違う性格をもつ彼らは、互いの能力と隠し事につながり、進んでゆく。読み始めたら止まらない。読後、心温まる青春小説です。

一人に一つの能力。決して万能じゃなくどこかかけたところがあるのが魅力です。その能力によって自分からみた他人と他人からみた自分の人物像がうまく表現されていて面白いです。



『同志少女よ敵を撃て』

(著者:逢坂冬馬 / 出版社:早川書房)

1942年、モスクワ近郊の農村にすむ少女セラフィマの日常は突如奪われた。ドイツ軍により母親もろとも親戚や友達も惨殺され自らも殺される寸前、赤軍の女兵士イリーナに救われ問い掛けられる。「戦いたいのか、死にたいか。」彼女はドイツ兵を殺すため一流の狙撃兵になることを決意する。おなじ志をもつ少女たちとともにやがて独ソ戦の転換点となるスターリングラードの前線へと向かっていく。味方と敵のおびただしい死の中セラフィマが目にする”真の敵”とは？

戦争は決して他人事じゃない。いまもどこかで武器を持つ子どもたちがいる。そのことを念頭に置いて、ぜひ手にとって読んでみてください。



『向日葵の咲かない夏』

(著者:道尾秀介 / 出版社:新潮社)



夏休みを迎える前日の終業式。僕は先生に頼まれ欠席をした友人の家を訪れた。物音がなくなにかがおかしい。きい..きい。。不気味な音がする。中を見るとS君は首をつって死んでいた。衝撃もつかの間、彼の死体は忽然と姿を消した。1週間後彼は姿を変え、再び現れ口にする「僕は殺されたんだ」と。僕は彼の無念を晴らすため妹のミカと事件の真相を追い始める...

物語を読み進めているとなにかが引っかかる、なにかがおかしい。終始覆われる違和感とダークな雰囲気引き込まれること間違いなし！普通じゃない物語が読みたい方におすすめです！



📖 図書館の貸し出し状況(4/1~11/14)をお知らせします!

1組	2組	3組	4組	5組	6組	計	職員
449	41	113	26	144	-	773	307
83	62	74	33	24	-	276	
181	100	122	71	29	136	639	

🍎 図書委員会より

1・3年生のみなさん、先日のLHRビブリオバトルは楽しめましたか？

各クラス、チャンプ本にはどんな本が選ばれたのか、とても楽しみです(*^^)

2年生のみなさんは12月か1月にLHRビブリオバトルを開催予定ですので、ぜひ楽しみにしててください!

